



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより

○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える



ためし



令和7年9月17日号 文責 上久木田 雄二

地域ねこと野良ねこ



みなさんは、地域ねこと野良ねこの違いをご存じですか。

地域ねこというのは、

もともとは野良ねこですが、地域住民の合意と協力のもと、ルールに従って適切に管理されているねこ

のことを指します。

地域ねこと呼ぶためには、「合意や協力とルール」が必要だということです。

一方、野良ねこというのは、

飼い主がおらず、地域住民からの管理や世話をされていないねこ

のことを意味します。そこには、「合意も協力」もなく、「ルール」も存在しないということになります。

先日高学年の子どもたちが、朝から校長室に報告に来ました。

校長先生、ねこの糞があります。

おそらく子どもたちは、糞を取り除いてもらおうと思ったのでしょう。ですから、私はすぐさま返答しました。



「ねこの糞は今日だけのことはありません。毎朝庁務員さんが、時間をかけて取り除いてくれています。

今日はたまたまみんなの目につくところにあったのですね。」

毎日通っている学校に、ねこの糞が大量にあることに気づいていない子どももいるんだなと思いました。

それ以上に、改めて毎朝庁務員さんが丁寧に校舎の環境整備をしていることに頭が下がります。



無責任にねこにエサを与えることについて、環境省も注意喚起しています。自治体によっては条例で規制されています。



小さくなったので、チラシは裏面に印刷しておきます。かわいそうだと思う気持ちは誰でも同じだと思います。そのことと無責任は違うということを分かち合いたいと思います。

子どもたちにも（もちろん地元の皆さんにも）、ねこの糞害に憤慨する前に、根本的な解決の道がどこにあるのかを考えてほしいと思っています。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

